



ぶんか サミットに ちょうせんしよう！

ローマ
16章 20節

平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。

目に見えないサタンは、創世記3章の善悪の知識の木の実を通して「人も神のようになることができる」というメッセージを植えました。これが、人々が神様を信じなくなったのは始まりです。それだけではありません。サタンは、創世記6章、11章で、神様だけが満たせる場に他の文化を満ちしました。結局は、崩れるしかない成功、サタンの奴隷になるしかない文化でした。今でもサタンは、ネフィリム時代のように文化を掌握しています。エジプトのピラミッド、ペリシテのダゴン神殿とバアル神殿、ローマの偶像神殿のように、全世界を掌握しています。神様はそのときごとに、レムナントをたてられました。

ピラミッド偶像を止める者としてモーセを、ダゴン神殿とバアル神殿を止める者としてサムエルとダビデを、ローマの偶像文化を止める者としてパウロと初代教会を呼んでたてられたのです。同じように、私をレムナント、伝道者と呼ばれました。サタンは、キリストを持っているレムナントを恐れます。キリストを持っている神の子どもとしてサミットの時間を持ちましょう。たったの5分だけでも、神様を待ち望みながら味わう深い時間があるならよいのです。そのときに持つ霊的サミットの時間を通して、24時技能サミット、文化サミットの証拠をくださるでしょう。



啓業のみことば



啓業のいのり

神様、目に見えることにだまされしないで、神様を待ち望んで味わう深い時間に、キリストを握るように、私の霊的な目を開けてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



サタンの方法と、神様がくださった解決策を聖書から直接さがして書きましょう。



サタンは、私たちを、いまもだましています。どんな方法でだますのでしょうか
創世記3章 4～5節のみことば



サタンに勝つことができる唯一の方法があります。
女の子孫（キリスト）です
創世記3章 15節のみことば



啓業のでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for writing notes, including sections for '啓業のでんどう', 'あひと 会う人', and 'じゅんび 準備する資料'.



イエスさまの さいごの めいれい

すいようび
マタイ
28章20節

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らをおし教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

世界には237の国があります。この中には福音が入っていない国も多くあります。たとえば、北朝鮮のような宗教の自由がない共産主義国家があります。イスラムの国々は、中東とアジアの政治、文化、社会、経済を握っています。彼らは、イスラムの宗教を信じない人を死にまで追い込みます。ヨーロッパ、アメリカなどの先進国の福音は薄くなり、教会がなくなっていきます。それだけではなく、精神病と麻薬で苦しんでいます。このように、全世界、237の国のあちこちで、人々は霊的問題と肉的問題で苦しんでいます。

このようになることをご存知だった神様が、この地にイエス・キリストを送ってくださいました。レムナントである私たちに、イエスがキリストという福音を味わって、宣傳伝えることを最後の契約として命令されました。それゆえ、私が会おうすべての人、また行くすべての現場と国に、私を通して福音が宣傳伝えられていやさされるでしょう。そして、他のレムナント弟子も立てられるでしょう。イエス様がくださった最後の命令を、もういちど、覚えましょう。心に願いとして置いて、毎日黙想するなら、237の国を生かすレムナント伝道弟子として立ててくださいるでしょう。



きょうのみことば



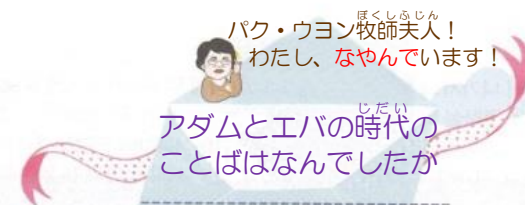
きょうのいのり

神様、福音で全世界を生かす弟子をさがすレムナントとしてくださって、ありがとうございます。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



5月には、どんな友だちの悩みを分かち合いませんか

なやんでいます



パク・ウヨン牧師夫人！
わたし、なやんでいます！

アダムとエバの時代の
ことばはなんでしたか

クルトギ教会 / キム・ウンテク レムナント

創世記2章20節には、アダムがすべての家畜と空の鳥と、野原のすべての獣に名前をつけたと記録されています。加えて、エバと対話したこと（創2:23）をふまえると、たしかに特定のことばを使っていたと考える必要はないでしょう。しかし、アダムが使っていたことばが、ヘブライ語であったのか、ラテン語であったのか、はたまたアラム語だったのかは、まだ確認されていないようです。アダムの時代のことばが、いま私たちが使っている言語とはちがう、別の言語だったとする学説だけがあります。

学者の中には、アダムが動物の名前をつけたとき、名前と音声を表現できる音声言語を使ったと主張する人もいます。音声言語とは、音だけで万物の本質を表現する包括的な言語です。ヘブライ語のつづりを発音してみると、舌と声帯、気管支の形をそのまま現わすという点で、アダムのことばは、ヘブライ語だと主張する学者もいますが、仮説にすぎません。

ウンテク・レムナントは、言語に関心があるようですね。これからこの部分を研究するすてきなサミットとして挑戦するようにお祈りします。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Handwriting practice area with grid lines and horizontal lines for notes.

かみさまの みことばを けいやくとして

創世記

19章 14～15節

そこでロトは出て行き、娘たちをめぐらした婿たちに告げて言った。「立ってこの場所から出て行きなさい。主がこの町を滅ぼそうとしておられるから。」しかし、彼の婿たちには、それは冗談のように思われた。夜が明けるとき、御使いたちはロトを促して言った。「さあ立て、あなたの妻と、ここにいるふたりの娘たちを連れて行きなさい。さもないと、あなたはこの町の咎のために滅ぼし尽くされてしまおう。」

アブラハムとおいのロトが土地を分けるようになりました。ロトが選択したソドムとゴモラの地は罪悪がいっぱいだったので、水が豊かでした。アブラハムは、カナンに留まるようになりました。しかし、ソドムとゴモラの地は、そこを生かす義人がいなくて、より一層、墮落するようになりました。結局、神様は硫黄の火でソドムとゴモラの町をさばかれました。御使いを通してこのことを知らせてくださったのですが、ロトの娘婿たちは、神様のみことばを冗談だと思いました。結局、彼らはその町とともに滅びてしまいました。

神様のみことばを成就される契約として握らなければなりません。まだ私たちのまわりには、神様のみことばを冗談のように思っている人が多くいます。神様は、その人々を生かす義人を探しておられます。キリストによってすべての罪を赦され、救われた者、私を神の子ども、義人とされて、その働きをするように望んでおられます。義人が必要な所は、どこなのかを考えてみましょう。神様のみことばを契約として握り、その現場に向かって信仰の祈りをしましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

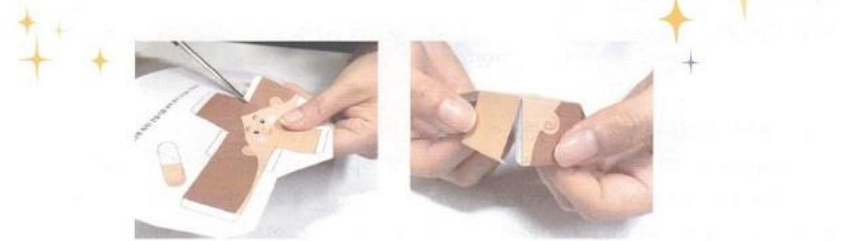
神様、神様のみことばを冗談のように思っているところに、救われた義人である私を送ってくださって、ありがとうございます。神様の契約として、その人たちが生かされるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

訳者注：

テキストでは、先週作ったヨセフの展開図が、このページに出ているので、先週にあった作り方と展開図を、もう一度、出しておきます。次のページに展開図があります。先週のものより、少し小さいです。



ワーク



01 かたちを切り抜きます

02 点線と実線をおります



03 斜線のはいている部分にのりをつけてはりあわせます



04 頭、体、腕、足を正しい位置にはったらできあがり！



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび しりょう 準備する資料

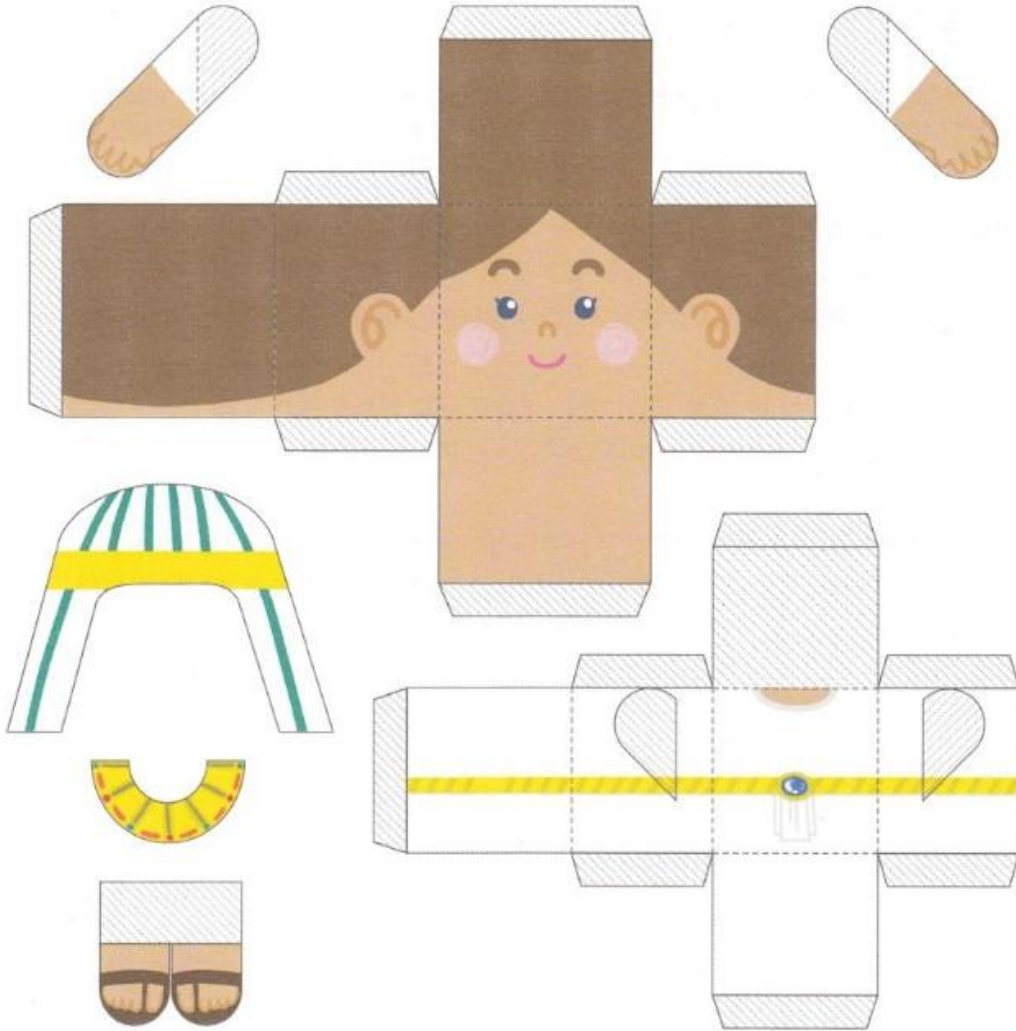


けいやくの りよてい

きんようび

なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

ローマ
1章17節



聖書は66巻で形成されています。多くの話が記録されていますが、聖書が語る核心はとても簡単です。私たちの根本問題を解決した名前はイエス・キリスト、行く所ごとにインマヌエルを味わえば臨む神の国、ただ聖霊で満たされれば地の果てにまで証人となるということです(使1:1、3、8)

この約束を握って行く私たちの道を契約の旅程と言います。この契約の旅程を歩いていたパウロは、行く所ごとに福音を宣べ伝える伝道者として生きて、殉教しました。その福音が私にまで届きました。

イザヤ6章13節を見れば、福音を持つ切り株(レムナント)を通して全世界に福音が伝えられるという契約をくださいました。私を通して神様がその働きをなさるでしょう。パウロのように、神様が福音の義を伝えるレムナントとして私を呼ばれたという契約を握りましょう。今日も、その契約の旅程になるように祈りましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Grid area for writing names of people met today.

Blank lines for writing preparation materials.



きょうのいのり

神様、いまは私がパウロのように、切り株になって、全世界に福音を宣べ伝える契約の旅程を歩いて行くように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



しょうにん

どうび

使徒
1章 14節

この人たちは、婦人たちがイエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

ジョン・ストット (John Stott, 1921-2011) 牧師は「伝道とは私に臨んだキリストの栄光を話すことです」と言いました。それなら、最もやさしい伝道の方法は何でしょうか。それは、私が会ったキリストを話すこと、すなわち、キリストの証人になることです。これがイエス様が私たちにくださった伝道の方法です (使 1:8)。

証人になろうとするなら、証拠があれば良いのです。まず聖書のレムナント7人 (ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ) のように、問題を問題でなく、神様の計画として見るように黙想しましょう。次に、使徒1章14節の人々のように、ただイエス・キリストの御名で祈りながら集中しましょう。そのとき、ただイエス・キリストが私の中心になることができます。このとき、聖霊に満たされる力ができて、行く所ごとに神の国が臨むようになります。

証人になることは難しくありません。神様が私をすでに証人として呼ばれたからです。今日のみことばを、もう一度思い出してみましょう。そして、友だちといっしょに、行く所々を生かす伝道者の心でもう一度祈りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、私をこの世を生かす伝道者として呼んでくださってありがとうございます。私が出会ったイエス・キリストを全世界に伝える証人となるように、導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



体力を
つけよう

霊的な力と体力を受けることができるように、呼吸をしながら祈りましょう。



01

息を吸う (聖霊の満たし)

この時間

キリストの霊として
来られた聖霊によって
満たしてください。



02

息を止める

世界福音化をする

ことができるように
5つの力 (霊力、知力、
体力、経済力、人材力)
を増し加えてくださり
伝道対象者に
伝道する門を開いてください。



03

息をはく (サタン縛る)

この時間の

問題を通して働く
すべての暗やみの力は
イエス・キリストの御名に
よって離れ去れ!



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Grid area for notes and preparation materials.